

崇城大教授の油絵画家

# 熊谷さん都知事賞

## 母子像を点描 制作公開し完成

崇城大教授の油絵画家、  
熊谷有展さん(51)長崎県  
出身の作品「Orange  
e Symphony」(オ



熊谷 有展  
崇城大教授

レンジ・シンフォニー」  
が、国立新美術館(東京都)  
で開かれている総合美術展  
「改組新第4回日展」の東  
京都知事賞に選ばれた。受  
賞作は暖色を基調に無数の  
点を描き、モチーフの母子  
や風景を浮かび上がらせ  
た。制作過程を個展会場で

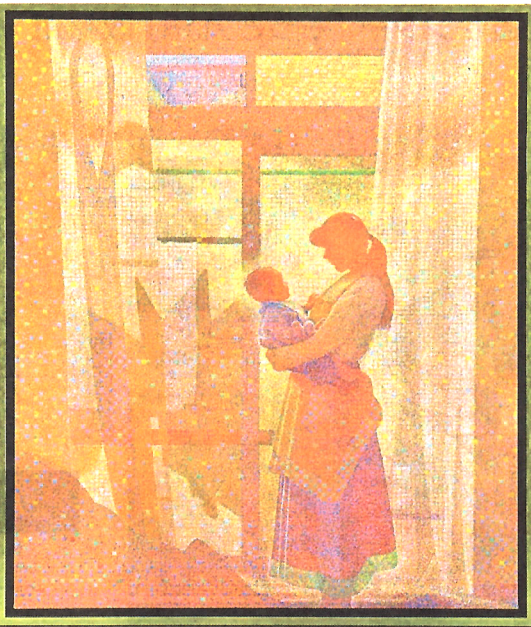
公開し、来場者の声や感性  
も取り入れて完成させたユ  
ニークな作品でもある。

作品は、母親が部屋で幼  
子を抱く情景を130号の  
大きなカンバスに描いた。  
ふんわり揺れるカーテン  
や、窓から差し込む日だま  
りが母子を包み込み、温か  
い空気を演出する。熊谷  
さんは「互いが互いが必要  
とし合う人間関係の原点を  
表現したかった。小さい点  
が作り上げる一つの世界を  
楽しんでほしい」と話す。

室内の合理的な処理が相  
乗し清潔な詩情を画面に  
もたらしている」と評価し  
た。  
熊谷さんによると、3年  
前に取りかかったものの、  
色彩の構成に悩んで制作を  
中断していた作品だった。  
「見る人の意見を参考にし  
たい」と、熊本市内の個展  
会場で1カ月間、制作の様  
子を公開して仕上げた。今  
後も「自分の生活の中から  
モチーフを見つけ、誰にで  
も通じる人間の絆を描きた  
い」と話す。

国立新美術館での会期は  
12月10日まで。京都、大阪、  
大分、金沢の順に来年6月  
まで巡回する。

(国崎万智)



洋画部門の応募18832  
点のうち入選516点を含  
む展覧会の陳列作品約6  
30点から、熊谷さんは都  
知事賞に選ばれた。選考委  
員は「点描により光と空間  
を新鮮な感覚で表現してい  
る『母子像の親密な様子、

東京都知事賞に選ばれた「Orange e Symphony」